

情報通信審議会 情報通信技術分科会

電波有効利用方策委員会

V H F / U H F 帯電波有効利用作業班

中間報告書（その3）

（骨子案）

平成 19 年 月 日

## 目 次

1	検討の背景	
	委員会からの検討課題等求められている事項	.....●
2	作業班及びアドホックグループ会合の開催状況	.....●
3	課題の検討状況	.....●
	(1) 自営通信グループからの回答について	.....●
	(2) 放送グループからの回答について	.....●
	(3) VHF 帯共用検討グループからの回答について	.....●
	(4) ITS グループからの回答について	.....●
	(5) UHF 帯共用検討グループからの回答について	.....●

## 1 検討の背景

第6回委員会（平成19年3月30日開催）において、作業班からの中間報告を受け、審議を行った結果、別添1（資料2022-VU作8-2を添付する。）の事項について引き続き検討を行い、次回委員会（平成19年4月下旬開催予定）に報告することが、作業班に対して指示された。

本作業班としては、これを受け検討を行った。

なお、検討事項に関し次のように経緯説明及び質疑があり以下のようなやり取りがあった。

### ① 経緯説明

- 前回の作業班では、各アドホックの検討結果を作業班でまとめて、委員会へ報告した。その場において委員会から色々なご指摘があり、一部検討あるいは検討を継続する必要がある項目もあったので、これらの事項を作業班で検討し回答することとなった旨事務局から説明があった。
- これらの事項と併せ、VHF帯、UHF帯の隣接システム間の共用条件について検討し周波数有効利用の観点から適切な周波数配置を検討し回答することも求められた旨説明があった。

### ② 質疑

- 放送グループの検討課題と整理された「委員会の前提条件であるVHFローバンドについては、携帯受信を考慮した場合アンテナが大型化し、放送受信機に適さないのではないか。」との意見の取扱いを検討する事とした委員会の議論について質問があった。
- これに対し、主任より、検討するべきとの議論があった訳ではなく、本件について検討したい旨の記載があった作業班報告が委員会において了承されたため、本件について検討することとなった旨の説明があった。
- 更に、本件のように検討の前提条件と整理された事項に従って類型化作業を行っており、これが見直せるのであれば他も見直せるということにならないかとの意見が出されたが、放送グループから検討したいとの話が出たことに対し委員会から反対が無かったために検討することとしたものである旨説明があった。

## 2 作業班及びアドホックグループ会合の開催状況

（参考資料を転記する。）

### 3 課題の検討状況

第8回作業班会合において、以下のような説明及び質疑等があり、これを踏まえて委員会へ報告することとされた。

(各グループ毎に説明及び質疑等を踏まえ簡潔に記述する。)